

H29ベジたベプラスキャンペーン

～ターゲットへのアプローチ～



いつもの食事に



大和郡山市保健センター
「さんて郡山」
平成29年6月9日（金）

これからみなさんと一緒に、ベジたベプラスを広めるためのいろいろな方法についてお話したいと思います。

「ベジたべ+（プラス）」

大和郡山市では、いつもの食事に **野菜をプラス**する「**ベジたべプラス**」をすすめていきます！



1. 「ポスター」でアプローチ

- ・いただいたアイデア広めよう！

2. 「つながり」でアプローチ

- ・知っている人が言っているのを読んでみた効果

3. 「イベント」でアプローチ

- ・関心のない人へのきっかけづくり

4 「新商品開発」でアプローチ

- ・これを食べるだけで「ベジたべプラス」

ベジたべプラス今日のラインナップです。

1. ポスター

2. 広報「つながり」

3. イベント

4. 新商品開発

のアプローチ方法についてお話しします。

覚えていますか？

「ベジたべ」してほしい人たちは・・・

ターゲット

20～40代女性
20～50代男性
子ども

野菜が身体にイイのはわかるけど
毎日食べるって大変そう・・・あまり関心もないし・・・

子育てや仕事に忙しい
若い世代にできるのでしょうか？



3

覚えていますか？ベジたべしてほしいターゲットは、20～50代ぐらいの若い人や子どもたちでした。
この人たちは子育てや仕事に忙しく、なかなか関心もない世代と思われましたよね。

ということで・・・
アイデアを考えていただきました。



ということで、2月の推進委員会でベジタベを広めるために推進委員のみなさまにアイデアを考えていただきました。
せっかくいただいたアイデアを広めないと意味がありません。

1. 「ポスター」でアプローチ



そこで、このポスターを作りました。駅や公共施設、幼稚園、保育園などに貼らせて頂いています。
見かけた方はいらっしゃいますか？通った時にでもぜひ探してみてください。

2. 「つながり」でアプローチ

6月は「食育月間」 毎月19日は「食育の日」

いつもの食事に
野菜をプラス

ベジたべプラス

生活習慣病予防など健康増進のために「1食に両手1杯以上の野菜を食べること」をすすめています。
目標は「野菜1日両手に3杯(350グラム)」。

6月1日「食育月間特集号」に
みなさんのメッセージを掲載。
ご協力ありがとうございます。
まわりの反響はいかがですか？

三の丸で
載ってるねって
声かけられたよ！

私も
載ってマス

ベジたべを実践するために
できそうなこと・してみたいこと
大和郡山すこやか21推進委員
のみなさんが考えました！

6月1日号のつながりはご覧になりましたか？6月は食育月間ということで、ポスターと同じメッセージを掲載しました。

まわりの反響はいかがでしたか？松井さん、山本さんからは声をかけられた、というお声をいただきました。

他の方はどうでしたか？

3. 「イベント」でアプローチ



お買い物に来ただけの
無関心な家族にアプローチ！

昨年まではアピタで
やっていました



ターゲットとしたい若い人は保健センターの健康教育などに来てくれることはまれです。ではこちらから若い人がたくさんいる場所に出向かなければお会いすることができません。

そこで、お買い物に来ている家族に関心を持ってもらうことを目的にスーパーでイベントを実施しました。昨年まではアピタで実施していました。

見たことある方はいらっしゃいますか？

3. 「イベント」でアプローチ



野菜は**農業**なくしては語れない。
保健センターだけでなく、**農業関係者や商業関係者と一緒にやりたい!**
農業・商業のイベントに
コラボできないか?

奈良県との協定で地産地消を一緒に取り組んでくれているイオンの大和郡山フェアでなら一緒にできそう

8

でも、先ほどのイベントは保健センターと市で食育を担当している部署だけのイベントでした。野菜を食べてほしい「ベジたべプラス」を推進するためには、農業や商業関係者と一緒に実施したい。コラボしたいという思いが強くなりました。そこで、考えたのが、奈良県との協定で地産地消を一緒に取り組んでくれている大和郡山フェアは学校給食野菜の販売をすでに実施していました。ここなら一緒にできそうと考えたのです。

3. 「イベント」でアプローチ



大和丸なすって東京や京都、大阪などの料亭に出荷されて身近でないと思われがち。地元の人に食べてもらいたい

- ✓ 野菜を食べない人を減らします
- ✓ 地元農産物を選びます



農家さんの想いと市の課題がリンク

すこやか21計画の目標として「野菜を食べない人を減らす」こと、「地元農産物を選ぶ人を増やすこと」がありました。また、農家さんの思いとして、例えば市の特産品である「大和丸なす」は東京や京都、大坂などの料亭に出荷されていて、地元の野菜なのに地元の人に食べてもらっていない、地元の人に食べてほしいという思いを持っておられました。この気持ちと市の課題がリンクしたのです。

3. 「イベント」でアプローチ

今年は大和郡山フェアでやります！

いつもの食事に
ベジタベプラス
キャンペーン

と き：2017年 6月3日(土)・4日(日) ところ：イオン大和郡山店 1階 野菜売り場・中央ステージ

お買い物に来ただけの
無関心な家族に
アプローチ！

大和丸なすピザコーナー 試食あります
3・4日11:00～ 各々1次催終了
石原ビジュアルの有名店「サンデー」と
奈良女子大生「ヘルスチーム」が特別提供

大和郡山カレーコーナー
3・4日15:00～ 各々1次催終了
地元農家さんと奈良女子大生のお郷さんに
野菜のことをいろいろ教えてもらおう

人気レシピ
プレゼント！

ビザ試食あり
食と農 トークショー
4日(日)16:00～16:50
主賓者：野田111 シェフ 高橋貴
司西沢 藤子大葉 松原幸典さん 福西真実さん

奈良女子大生ステージ
4日(日)14:00～15:00
お姉さんと一緒に歌って踊ろう！
人気アイドル「ビタモンガールズ」
高橋アイドル「ビタモンガールズ」

商品は
丸なす
です！

ステージイベント
やまのくいす
4日14:30～14:45

幼稚園・保育園
学校給食展示

主催：大和郡山市食育推進担当若菜 協賛：大和郡山市健康づくり推進員連絡協議会

お問い合わせ（事務局）：大和郡山市保健センター「さんて郡山」（大和郡山市本庄町3-17番地2）TEL58-3333

そこで、今年度は、大和郡山フェアでイベントを実施しました。食育担当課には、今までどおり啓発の媒体を作ってもらいました。毎年6月19日の食育の日に学校給食や保育園給食で出している「大和郡山カレー」を農家さんと保健センターに管理栄養士の実習できている奈良女子大学生で試食を提供しました。また、大和丸なすの田楽などのさまざまな大和丸なす料理も試食提供しました。

3. 「イベント」でアプローチ



そこで、今年度は、大和郡山フェアでイベントを実施しました。食育担当課には、今までどおり啓発の媒体を作ってもらいました。

毎年6月19日の食育の日に学校給食や保育園給食で出している「大和郡山カレー」を農家さんと保健センターに管理栄養士の実習できている奈良女子大学生で試食を提供しました。また、大和丸なすの田楽などのさまざまな大和丸なす料理も試食提供しました。

3. 「イベント」でアプローチ



そして、今回は、このイベントのために奈良女子大学生による食育アイドル「ビタミンガールズ」を結成し、大和郡山市特産品のなすびやトマトのことを説明しながら野菜にまつわる替え歌やダンスを披露しました。子どもたちもノリノリで踊ってくれたり、ステージはイスを追加しないとといけないほど満員で大盛況でした。実際の様子を少しご覧ください。(動画・1分)

3. 「イベント」でアプローチ



野菜ソムリエの農家さんから丸なすの料理方法や特徴、見分け方などを伝授

シェフからは家庭でできるプロの味の丸なすレシピを提供



一緒に開発した大和丸なすピザです



食と農のトークショーでは、前のぱーふる編集長で現在「奈良食べる通信」という雑誌の編集長をしておられる福吉編集長をMCに、野菜ソムリエの資格をお持ちの農家さんから大和丸なすの料理方法や特徴、見分け方などを伝授してもらったり、イタリア料理のシェフからは家庭でできるプロの味の丸なすレシピを覚えてもらったり、最後に奈良女子大学生とシェフの共同開発ピザのご紹介と試食をするなど、大和丸なすを満喫できる内容のアプローチをしました。

イオンにご相談に行った時に 担当者（農業&保健センター）は思いました…



カフェで売っているけど
うまく連携できないかな？



また、このイベント実施にあたり、農業担当課の職員と一緒にイオンにご相談に行ったのですが、その時に高浜町のように野菜売り場でさまざまな普及啓発を行っていることを知りました。そして、カフェに行くと、なんと大和郡山で採れたこだわりのお野菜を使った、まさに「大和郡山ピザ」を作ってくれているではありませんか！これは何かうまく連携できればいいな、という話になり、農業担当者がさっそく動いてくれました。

4. 新商品開発でアプローチ

～関係団体と協力して「じもの野菜」をPR～

保健センターに実習に来ている管理栄養士の
卵たちの奈良女子大学生とピザを開発しよう



イタリア料理シェフに
相談にのってもらいました



学生&シェフ&
さんて&イオン
担当者と試作
店長さんや農家
さんと試食

15

保健センターに実習に来ている奈良女子大学生に「大和丸なす」を使ったピザの開発をしようというお話になったのです。
学生だけではなく、より良いものを作るために、イタリア料理サンプレーのシェフにも相談にのってもらい、共同開発となりました。

4. 新商品開発でアプローチ ～関係団体と協力して「じもの野菜」をPR～



毎日、読売、朝日、産経、奈良新聞にとりあげられ、ヤフーニュースにも掲載されました



16

このピザについては、毎日、読売、朝日、産経、奈良新聞にとりあげられ、ヤフーニュースにも掲載されるなど、販売前から話題になりました。

4. 関係団体と協力して 「新商品開発」でじもの野菜をアプローチ



試食販売は大盛況！
連日100枚が完売！



そして迎えた大和郡山フェアでの試食販売当日。試食販売は大盛況。連日100枚用意したピザは完売となりました。

新聞を見てこれ目当てで来て下さったお客様もいらっしゃいました。つながりの6月1日号やホームページにレシピも掲載していますのでよろしければご覧になってください。また、ピザは大和丸なすがなくなる7月半ばまで販売されていますので、よろしければこちらもご覧になってください。

4. 関係団体と協力して 「新商品開発」でじもの野菜をアプローチ



孫が野菜を食べる姿を
はじめてみました。
本当にありがとう
ございました。



ベジたベプラスにつながった！

また、この試食ではじめて野菜を食べたお子さんがいらっしゃいました。一緒に来られていたおばあさまは、「孫が野菜を食べる姿をはじめてみました。本当にありがとうございました」と何度もお礼を言って涙ぐまれていました。これこそ、若い世代へ「ベジたベプラス」につながった瞬間だと思いました。

平成29年度重点課題「ベジたベプラス」

次は、野菜週間を周知します！

8月20日～9月10日は野菜週間

8月31日は「やさしい」の日

いつもの食事に野菜を
プラスするために
これからもご協力をお願いします



6月の食育月間、大和郡山フェアでのベジたベプラスの取り組みは以上ですが、次は8月20日～9月10日の野菜週間で、さらなるベジたベプラスの普及啓発をしていかなければいけません。こんなふうにご啓発したらいいよね、というみなさんの素敵なアイデアをぜひとも教えていただければと思います。